

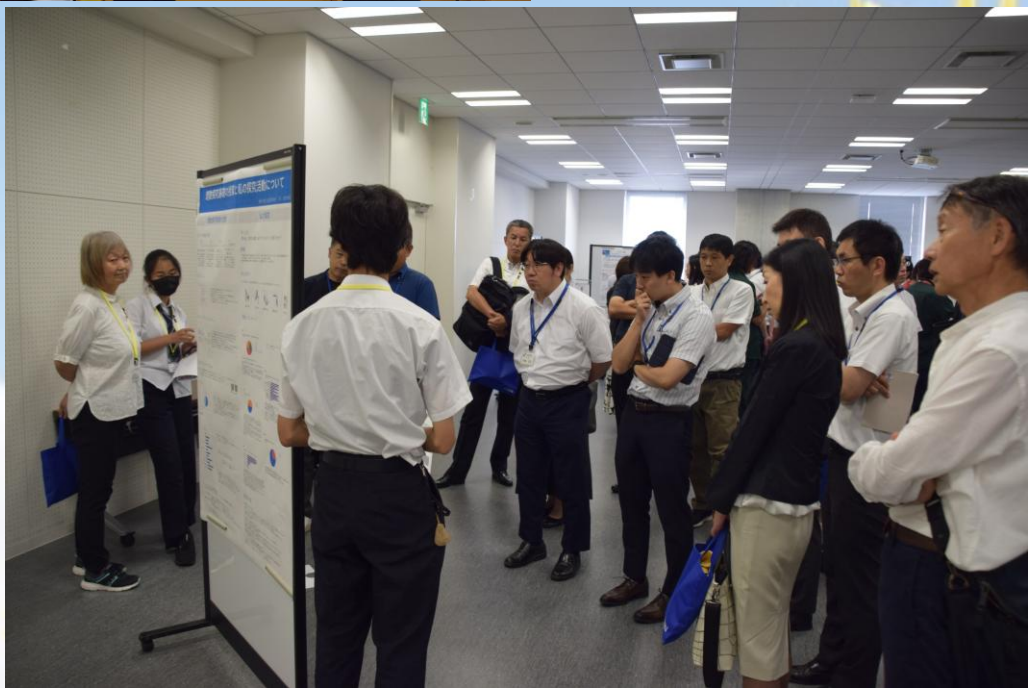


第7回

高校学びフォーラム

無料

AI時代における探究で育てたい
資質・能力について考える



8/19 2026 Wed.

9:00 受付開始

9:30 – 15:00

15:15 – 16:15 (事後交流会)

主旨

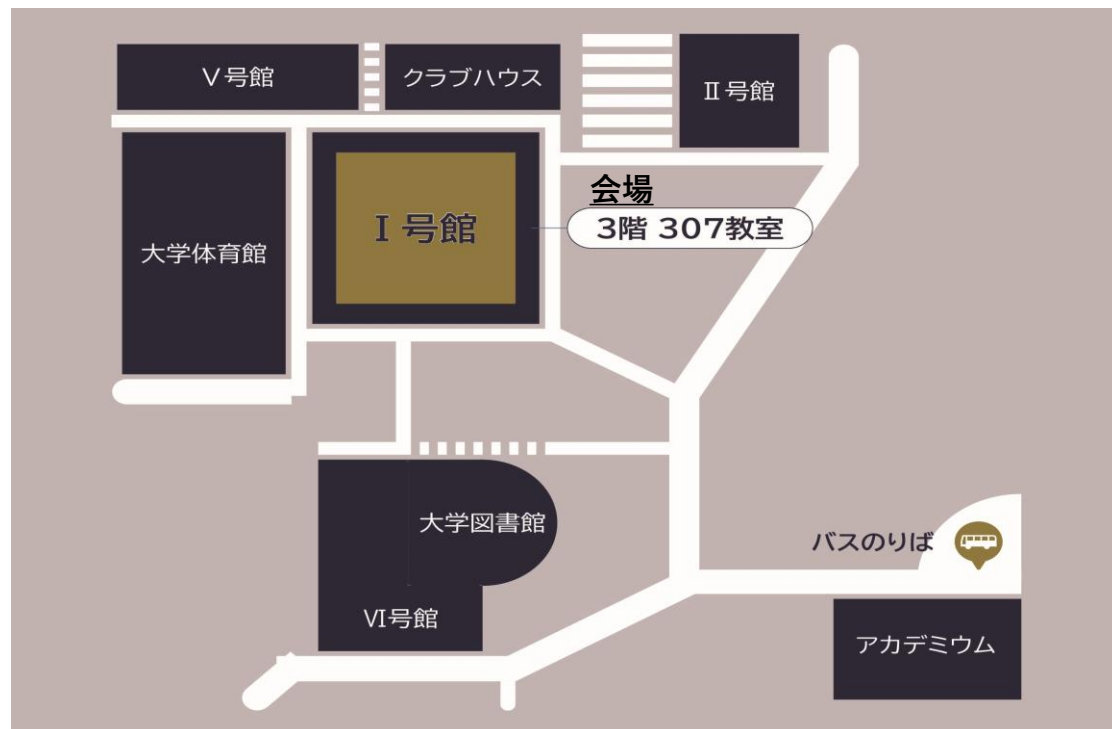
AIの急速な進展により、学校教育には、情報を受け取るだけでなく、問いを立て、多様な他者との対話を通して考えを深め、自ら学びを調整しながら課題に向き合う力がこれまで以上に求められている。総合的な探究の時間においても、AIを活用しつつ、一人ひとりの学ぶ力を引き出し、協働的に新たな知を生み出す学びをどう実現するかが重要である。本フォーラムでは、学習科学の視点から、AI時代に探究で育てたい資質・能力と、それを支える教師の役割、授業づくりや学習評価の在り方について考える。

開催概要

対象	神奈川県を中心とした首都圏の高校関係者
定員	150人
会場	桐蔭横浜大学 I号館307教室
会費	無料 (お弁当付き)
お申し込み お問合せ	申込・問合せフォーム または桐蔭横浜大学ホームページ
締切	2026年8月15日(土)17:00まで ※申し込み締切後の変更、キャンセルはできません。



MAP



※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

ACCESS



- 東急田園都市線「市が尾駅」「青葉台駅」、小田急線「柿生駅」よりバスをご利用ください。
- バス停「桐蔭学園前」もしくは「桐蔭学園」下車すぐ。

主催：桐蔭横浜大学

共催：神奈川県教育委員会

AI時代における探究で育てたい資質・能力と教師の役割 ～学習科学の視点から～



益川 弘如

青山学院大学 教育人間科学部 教育学科 教授

博士（認知科学）。中京大学情報科学部認知科学科助手、静岡大学教職大学院准教授、聖心女子大学教授などを経て現職。国立教育政策研究所フェロー、(一社)教育環境デザイン研究所(Nahomi Institute, CoREF)理事などを兼職。文部科学省「全国的な学力調査に関する

専門家会議」委員、「情報モラル推進事業検討委員会」座長などを務める。専門は学習科学、認知科学、教育工学、協調学習。一人ひとりなりに持っている「学ぶ力」を引き出す授業づくりと学習評価の在り方、ICT・AI活用を追求している。特に「対話」を通して知識を生み出していくプロセスに興味があり、日々データを集め、分析し、子供たちの学びの多様さを実感している。

著書に、『AIと仲間と学び合う』（明治図書）、『認知科学講座 3心と社会』（東京大学出版会）『学びのデザイン：学習科学』（ミネルヴァ書房）など。翻訳書に『学習科学ハンドブック第2版』（北大路書房）、『21世紀型スキル』（北大路書房）などがある。

【実践報告①】 藤沢西高等学校

11:05

【実践報告②】 大和高等学校

12:15

ランチタイム

13:00

生徒ポスター発表

13:55

【パネルディスカッション】

コーディネーター 森 朋子（桐蔭横浜大学長）

14:55

閉会

15:15

【事後交流会】

フリーセッション

登壇者と自由に交流することができます。

お申込み

QRコード または
桐蔭横浜大学ホームページ



※ お電話やメールでのお申込みはお受けできません。



学校法人 桐蔭学園
桐蔭横浜大学

〒225-8503 神奈川県横浜市青葉区鉄町1614 番地
電話：045-972-5881（代表）